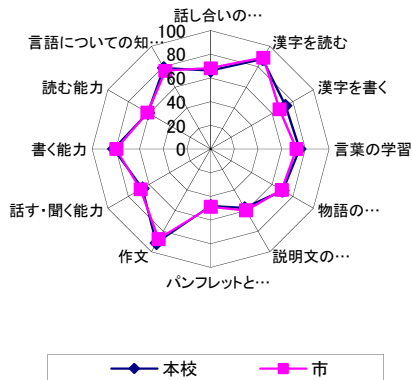


宇都宮市立海道小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	66.3	68.2
	漢字を読む	87.5	89.0
	漢字を書く	72.8	67.0
	言葉の学習	75.0	72.3
	物語の内容を読み取る	70.0	69.2
	説明文の内容を読み取る	57.5	59.8
	パンフレットと話し合いの内容を読み取る	48.1	48.9
	作文	91.6	87.8
観点別	話す・聞く能力	66.3	68.2
	書く能力	81.8	79.5
	読む能力	61.0	61.5
	言語についての知識・理解・技能	78.9	76.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	・市の正答率に比べ本校の正答率は、1.9%と若干下回った。話し合いを進める司会者の役割の理解や適切な言葉遣いで記述する問題でのつまづきが市の正答率を2.9%と下回ったことが影響した。	・授業にグループ学習を取り入れ、司会者の話し合いの進め方や進めるにあたっての注意点等を指導していく。また、話を最後までしっかり聞き、授業に取り組めるよう支援していく。
漢字	・漢字の読みで、本校の正答率は市の正答率を1.5%下回ったのに対し、漢字を書くことでは、本校の正答率は、市のそれを5.8%上回った。全問正解者がクラスの3割程度いたが、漢字の読み書きを苦手としている児童の割合が多いことが正答率に影響した。	・漢字を学習するに際し、書き順や読み方を指導をていねいに行う。 ・作文やノート、プリント等の提出物で漢字の間違えをチェックし正しく書けるようにする。 ・文字をていねいに書く習慣を身に付けさせる。 ・繰り返しテストしていくことで定着させる。 ・漢字を苦手としている児童に対し、個別指導を行い、学習方法を見につけさせる。
言葉の学習	・市の正答率に比べ本校の正答率は、2.7%上回った。三字の熟語の問題の正答率が92.5%と大きく上回ったことが原因とわかった。俳句の問題では、5%程下回った。	・俳句に関しては、季節の変化に応じて俳句を書かせることにより、俳句への興味関心を向上させる。 ・丁寧語、尊敬語、謙譲語の使い分けを普段の生活の中で、意識して取り上げたり使わせたりして身につけさせる。
物語の内容を読み取る	・市の正答率に比べ本校の正答率は、0.8%上回った。昨年度の結果に比べて10%ほど向上した。その原因は、問題文をよく読み、登場人物の様子や心情の変化を文章から読み取れるようになったことが考えられる。	・授業の中で音読を多く取り入れることにより、登場人物の心情やその変化、場面の様子を読み取らせる。 ・朝の学習で行っている読書の時間を充実させ、文章に対する抵抗感をなくしていく。 ・問題をしっかりと読み取ってから解答する習慣を普段の授業の中で培う。
説明文の内容を読み取る	・市の正答率に対し本校の正答率は、2.3%下回った。文章の内容を的確に読み取る問題のつまづきが下回った原因だった。	・時間をかけてじっくりと文章を読み取る習慣を授業の中で身に付けさせる。 ・段落の要点、段落と段落の関係、要旨の読み取りを重視して授業を行う。 ・つなぎ言葉や指示語、段落の要点の読み取りに必要な言葉等、言葉に着目して授業を行う。
パンフレットと話し合いの内容を読み取る	・市の正答率に比べ本校の正答率は、0.8%と若干下回った。資料と話し合いの内容の読み取りは満足行く結果であったのに対し、それを適切に書き加える問題につまづきが見られた。	・普段の授業の中で、話し合われた結果を振り返り、まとめる学習を重視する。 ・毎時の授業の最後に、自分の考えをまとめる学習を行わせるために、ノートやワークシートの工夫をする。
作文	・市の正答率に比べ本校の正答率は、3.8%上回った。自分の意見と理由を区別して書くこと意外は満足する正答率であった。	・文字数や段落の数等、条件をつけて作文を書かせる指導を行う。 ・自分の考えをしっかりと持たせること、自分の考えの根拠をしっかりと持たせることを指導者が念頭に置き、普段の授業を行う。また、理由を相手に伝える授業を意識して行う。